

# 第11章 定量的な目標値等の検討

## 11.1 目標指標設定の基本的な考え方

国が示す都市計画運用指針では、立地適正化計画の必要性や妥当性について、「市民等の関係者に客観的かつ定量的に提示する観点からも、あらかじめ立地適正化計画の作成に当たり、解決しようとする都市の抱える課題、例えば、生活利便性、健康福祉、行政運営等の観点から、立地適正化計画に基づき実施される施策の有効性を評価するための指標及びその目標値を設定するとともに、目標値が達成された際に期待される効果についても定量化するなどの検討を行うことが望ましい」とされています。

また、評価に当たっては「おおむね5年ごとに計画に記載された施策・事業の実施状況について調査、分析及び評価を行い、立地適正化計画の進捗状況や妥当性等を精査、検討すべき」とされています。

上記を踏まえ、本計画の方針と都市づくりの目標に基づいた定量的な目標指標を設定し、定期的な評価と計画内容の見直しを行いながら、持続可能な都市の構築に取り組んでいきます。

## 11.2 各分野の目標指標

表11.2.1 目標指標

【基本方針1 誰もが暮らしやすい居住環境づくり】

目標指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和27年度)	備考
居住誘導区域内人口の総人口に対する割合	39.3% (令和2年)	現状値以上	居住誘導区域人口÷総人口 (12,006人÷30,567人)
都市機能誘導区域内の都市機能誘導施設の立地数	5件	現状値以上 または維持	

【基本方針2 誰もが便利で快適な暮らしを享受できる都市づくり】

目標指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和27年度)	備考
市内地域公共交通利用者数 (年間)	17,300人	現状値以上	R6.12~R7.11のデマンド交通「のらっさ」利用者数
中心市街地交通軸の乗降者数 (バス停(平川市役所、平賀駅、平川診療所、イオンタウン平賀、平川市文化センター)の乗降者数)	65人/日	現状値以上	平川市地域公共交通計画の指標 (R7目標値：現状値以上)

【基本方針3 自然災害に強い安全・安心な都市づくり】

目標指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和27年度)	備考
自主防災組織率	95.6%	100%	第2次平川市長期総合プラン後期基本計画の指標 (R8目標値：100%)
防災訓練の実施率 (自主防災組織単位)	50.1%	100%	防災訓練実施組織数÷自主防災組織数

## 11.3 期待される効果

目標指標が達成されることにより期待される効果を、「第3次平川市長期総合プラン基本構想及び前期基本計画」の策定にあたって実施された市民意識調査のうち、施策に対する満足度(「満足」「やや満足」と回答した人の割合)の項目を評価指標として設定します。

表11.3.1 評価指標

【基本方針1 誰もが暮らしやすい居住環境づくり】

評価指標	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和27年度)
住環境整備の支援対策	42.5%	50%
移住・定住の支援対策	40.8%	50%

【基本方針2 誰もが便利で快適な暮らしを享受できる都市づくり】

評価指標	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和27年度)
公共交通(電車・乗り合いタクシー)の 使いやすさ	34.7%	40%

【基本方針3 自然災害に強い安全・安心な都市づくり】

評価指標	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和27年度)
地震・災害に対する備えや安心感	48.5%	50%